

商工会女性部はまさに  
元気と安心をお届けしています。

# はちみつ 通信

広報誌の発行や  
セミナーの開催・参加で  
部と部員事業所を活性化  
笠松町商工会女性部(岐阜県)



笠松町は愛知県に隣接し、古くから木曾川の水運に恵まれた交通、経済の要衝として発展。かつては美濃郡代笠松陣屋・県庁などが置かれ、岐阜県の政治の発祥の地でもありました。

部員34人の笠松町商工会女性部では、コロナ禍の厳しい経営環境のなかだからこそ、女性部員の経営力強化につながる活動などを実施するとともに、それらの活動を周知することにより、仲間を増やすことを目指して取り組んで

います。

こうしたなか、部員事業所や活動を紹介するため、広報誌『商女くらぶ』を発行。町内全世帯に配布して情報発信を行っています。女性部の加入メリットや魅力を伝えていき、地域とのつながりのなかで女性部と部員事業所が活性化できればという思いで発行しています。

また近年は部員参加型事業を推進し、セミナー講師も女性部員が行う形式で



上/オンラインと対面のハイブリッドで開催した「茶ムリエ」講座 右/オンライン配信は部員にも好評で、後日Zoom講習会も実施した



ITの知識や技術を学び、  
情報リテラシーを高めて  
デジタル化の時代に対応  
精華町商工会女性部(京都府)





開催し、部員同士の紹介や交流を図っています。さらに、青年部や異業種交流組織のCAM塾の主催セミナーなどにも女性部は積極的な参加を図っており、商工会員同士の交流にもつながっています。

このほか、2022年4月1日に、女性部が開催したフラワーアレンジメント講習会の参加費全額をウクライナ支援として寄付しました。

広報誌『商女くらぶ』で女性部員の事業所を紹介



講習会の参加費をウクライナ支援として寄付



女性部員講師による「寄せ植え講習会」

京都府南部の精華町は関西文化学術研究都市（愛称・けいはんな学研都市）の中心にある町です。

精華町商工会女性部員も地元企業から学研企業までさまざまな方が所属しています。2019年の年末より新型コロナウイルスが蔓延し、それから1年は女性部の活動もほとんど自粛続きでした。しかし、このまま何もできない時期を過ごすより、オンラインやSNSといった手段で部員同士のつながりや女性部の活動を地域の人たちにもっと知ってもらおう！と、2021年よりITを使った事業を計画し始めました。

まず最初に行ったのが、インスタグラムを使った情報発信です。次に行ったのが、Zoomを使ったオンライン配信と商工会館での対面形式を同時に行うハイブリッド形式で開催した、京都府とのコラボ事業「茶ムリエ講座」



でした。こちらはとても評判で、これを機会にオンラインツールを使いこなしたいとの声もあり、女性部員を対象にZoom講習会も行いました。

2022年度からはITの知識や技術を向上する事業に力を入れ、とくに情報リテラシーの知識をしっかりと学んで氾濫する情報に振り回されず、何が正しいのかを見分けるスキルを皆で身につけていきたいと考えています。さまざまなものがデジタル化、オンライン化していく時代でも、戸惑うことなく切り拓いていける女性部を目指します。